

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成21年11月27日

化学物質等のコード :2405-0252

化学物質等の名称 : m-キシリレンジアミン

2.危険有害性の要約

分類の名称: 腐食性物質、急性毒性物質

危険性 : 通常の取扱いで危険性は低い。

可燃性があるので火気に注意する。

有害性 吸入、あるいは経口摂取した場合、有害である。眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激性があり、発疹や焼け付き感を引き起こすことがある。長期暴露により、不快感、吐き気、頭痛等が起こることがある。

環境影響: 水生生物に有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。

3.組成、成分情報

化学名 m-キシリレンジアミン

別名 m-キシレン-、'-ジアミン

含有量 98.0 %

化学式・分子量 $C_6H_4(CH_2NH_2)_2 = 136.19$

化審法公示番号 3-308

CAS No. 1477-55-0

4.応急処置

目に入った場合: 多量の水で15分以上洗い流し、医師の手当を受ける。

皮膚に付いた場合: 汚染された衣服を脱がせ、洗い流してから水と石鹸で皮膚を洗浄する。医師の手当を受ける。

吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移し、水でうがいをさせる。安静保温に努める。医師の手当を受ける。

誤飲した場合: 口をすすぎ、大量の水を飲ませる。はかせない。直ちに医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法: 火元への燃焼源を断ち消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。移動不可の場合は水噴霧で周囲を冷却する。火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

消火剤: 粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素。

6.漏出時の措置

火気厳禁とし、ウエス等でぬぐい取った後、大量の水で洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- ・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化物との接触を避ける。
- ・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性の者を用いる。
- ・取扱い場所には局所排気装置を設置する、使用後は容器を密封する。
- ・漏れ、あふれ、飛散させないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- ・長期や繰り返しの暴露は避ける。

保管

- ・容器は直射日光を避け、冷所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準：設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値：設定されていない。

ACGIH (TLV)：0.01 mg//m3(skin)

OSHA (PEL)：REL air 0.1 mg//m3(skin)

設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護マスク

9. 物理的及び化学的性質

外観 わずかにうすい黄色～暗褐色、澄明の液体

蒸気密度 データなし

臭気 データなし

蒸気圧 データなし

沸点 265 (99.3kPa)

比重 データなし

融点 14.1

溶解度 水、エタノール、エーテルに易溶。

10. 安定性及び反応性

引火点 112.8

爆発範囲 データなし

発火点 データなし

安定性・反応性 特に反応性は高くないが、空気、光により変質する。

炭酸ガスを吸収する。

n-オクタノール/水分配係数 $\log Po/w = 0.18$

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 経口-ラットLD 50 :930 mg/kg 吸入-ラットLC 50 :700 ppm/1H

経皮-ウサギLD 50 :2 g/kg

刺激性 皮膚刺激 ウサギ750 μ g/24H severe

眼刺激 ウサギ50 μ g/24H severe

変異原性 データなし

がん原性 データなし

慢性毒性 データなし

12. 環境影響情報

魚毒性 ヒメダカ LC50: 156mg/L/48hr 水生生物に有害である。

藻類(セネデスムス) 72時間 ErC50=14mg/L (SIDS, 2003) 水生生物に有害である。

分解度 22% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)

生体蓄積性 濃縮倍率:< 0.3 ~ (濃度 2mg/l):< 2.7 ~ (濃度 0.2mg/l)

(経産省既存化学物質安全性点検)

生体蓄積性は低い。

13. 廃棄上の注意

燃焼隔離法

可燃性の有機溶媒と混合し、アフターバーナーとスクラバーを具備した焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。

(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国内規制

陸上輸送 : 毒劇法の規制に従う。

海上輸送 : 腐食性物質

航空輸送 : 腐食性物質

国連分類 : クラス 8 (腐食性物質) 容器等級 II

国連番号 : 2735

15. 適用法令

労働安全衛生法 施行令等の一部改正第18の2別表第9「名称等を通ずべき有害物」
No.555

消防法 危険物第四類第三石油類 水溶性 危険等級3

毒物及び劇物取締法 劇物、包装等級

船舶安全法(危規則) その他の腐しよく性物質

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。